



2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日)

2025年1月20日 発行
元衆議院議員とかしきなおみ事務所



®環境省
エコアクション21
認証番号0003252

ごあいさつ

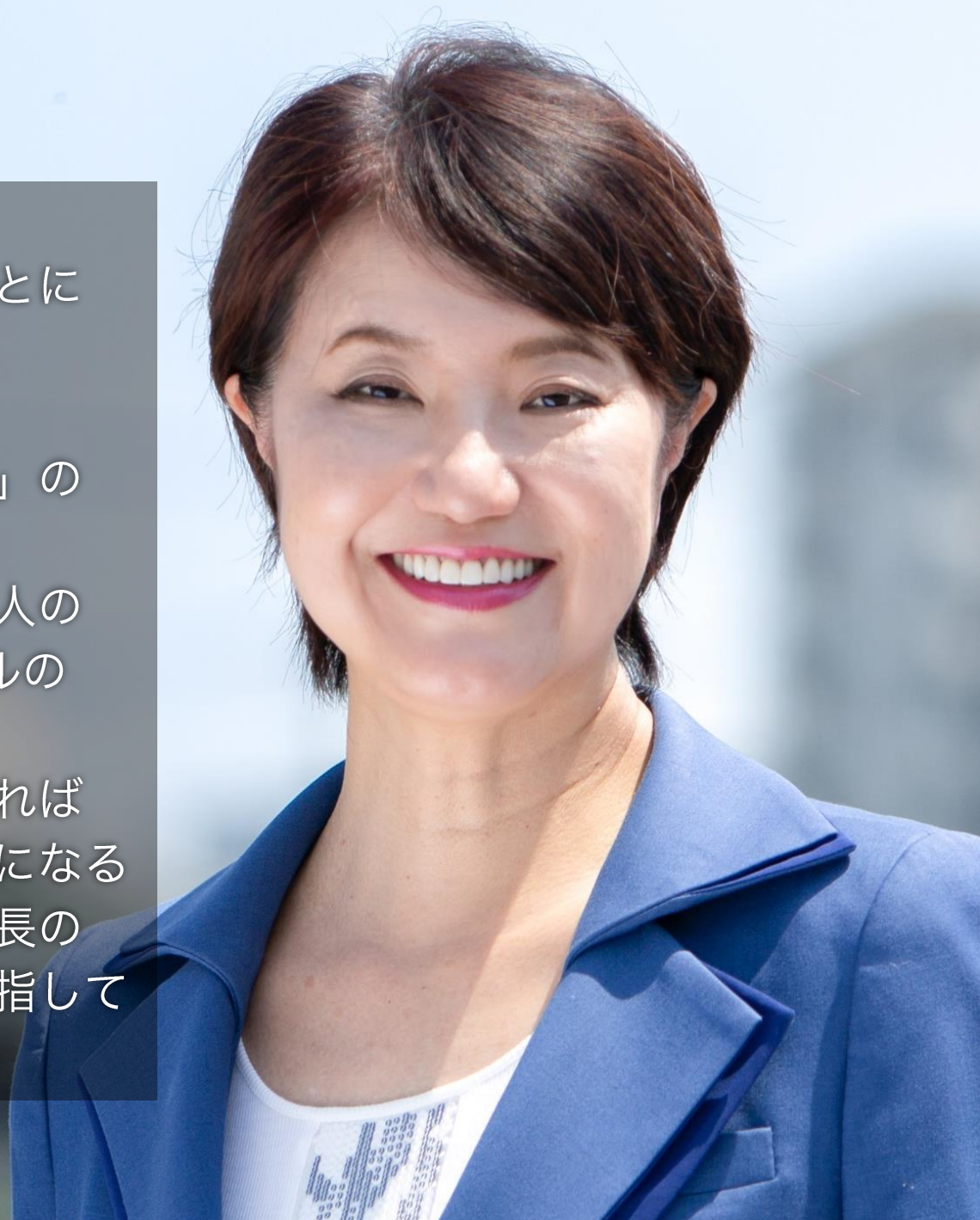
揺れる脱炭素！

地球温暖化懐疑論があちこちで話題に挙がってくることに危機感を覚えています。エネルギーの高騰や急激なインフレに襲われた世界は、現在「コスト高」である脱炭素を標的にして、今まで積み上げてきた「脱炭素」の取組を否定しようとしています。

私が専門としている「厚労」と「環境」は、「厚労は人の健康を扱い、環境は地球の健康を扱う。2つのジャンルの共通点は『健康』」と捉えています。

経済的に苦しくなったからといって『健康』を放棄すれば人類は生きていくことはできなくなる。私は『健康』になる環境を取り戻せるよう、環境副大臣、自民党環境部会長の経験を活かして、環境政策充実のために今後も再起目指して頑張ります。

元衆議院議員 とかしきなおみ



主な経歴

- 1962年 京都生まれ
- 1985年 昭和大学薬学部 卒業
株式会社資生堂 入社
- 1992年 早稲田大学ビジネススクール 卒業
- 1999年 杉並区議会議員 在職立候補 当選
- 2005年 衆議院小選挙区にて初当選（以降4期）
- 2015年 厚生労働副大臣
- 2016年 自民党厚生労働部会長
- 2017年 環境副大臣
自民党環境部会長
- 2020年 衆議院厚生労働委員長

環境経営方針



2024年4月1日 江坂企業協議会主催 「クリーンデー」

環境理念

とかしきなおみ事務所は、自発的に環境負荷の削減に取り組むと同時に、環境保全活動を推奨し、持続可能な経済社会への構築に貢献いたします。

将来的には、環境問題はエネルギー問題でもあるので、エネルギーをオフィスで生み出すことや、カーボンオフセットにも挑戦してきたいと考えています。

そして、環境問題を社会が永続的に取り組めるよう「環境と経済の両立」ができる社会を目指します。

環境保全への行動指針

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（事務所）の削減
- ・ 自動車燃料の削減

②廃棄物の削減（循環型社会への対応）

- ・ 一般廃棄物（可燃ごみ）の削減

③資源の有効利用

- ・ 水道水の削減

④医療と環境を配慮したまちづくりの提言

- ・ エコメディカルシティに向けた提言活動
- ・ 環境政策への積極的な提案
- ・ 環境イベント等での啓発活動

2. 環境関連法規制や当事務所が
約束したことを順守します。

3. 環境への取組を環境レポートに
とりまとめて公表します。

制定日：2008年6月1日
改定日：2021年1月20日

元衆議院議員

とかしきなおみ

登録事務所の 概要



2024年6月2日 摂津市「淀川わいわいガヤガヤ祭」

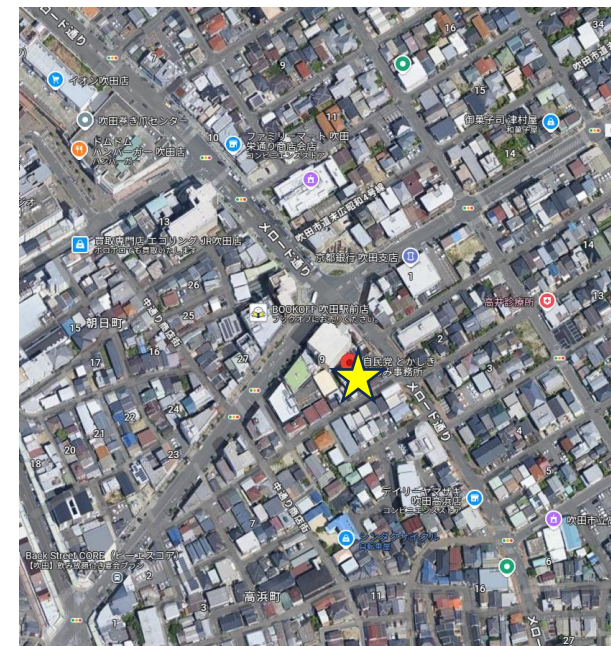
登録事務所の概要

登録事業所の概要

- ① **事業所名及び代表者名**
元衆議院議員とかしきなおみ事務所
代表 とかしきなおみ
- ② **所在地**
大阪事務所：大阪府吹田市高浜町9-16
- ③ **環境管理責任者及び担当者連絡先**
環境管理責任者 北野卓真 TEL.06-6319-1535
担当者 鎌田松輝 TEL.06-6319-1535
- ④ **事業内容（認証・登録の範囲）**
後援会拡大活動、政策提言活動
- ⑤ **事業の規模**
人員 8名
延べ面積 426㎡
- ⑥ **事業年度**
1月～12月

アクセス

- ・ JR吹田駅から徒歩6分
- ・ 阪急相川駅から徒歩12分
- ・ 阪急吹田駅から徒歩19分



実施体制



2024年5月31日 吹田市「自民党吹田市支部大会」

環境経営システム組織図

代表者
とかしきなおみ

総括責任
必要な経営資源を準備
環境経営方針の策定・見直し
全体の評価と見直し、指示

環境管理責任者
北野卓真

環境に関する実行責任者

秘書課
大阪事務所

環境方針の理解と環境への
取組の重要性を自覚
決められたことを守り、
自主的・積極的に環境活動へ参加

環境管理事務局
鎌田松輝

- ・ 環境管理責任者の補佐
- ・ 各種帳票の作成・データのとりまとめ
- ・ 環境経営目標・計画書案の作成
- ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
- ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・ 環境経営レポートの作成、公開



主な環境負荷の 実績



2024年8月2日 吹田市内「盆踊り大会」

主な負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量 (対象：電気・自動車燃料)	Kg-CO ₂	17,096	18,874	19,419
一般廃棄物排出量	Kg	436	249	238
水使用量	m ²	112	36	54

※電力の二酸化炭素排出係数

0.434

Kg-CO₂/kWh
を使用

(令和4年度実績の調整後)



環境経営目標及び その実績

2024年7月30日 加藤勝信 財務大臣（現在）と健都視察

環境経営目標及び その実績

項目 \ 年度		2023年度	2024年度		2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	8,856	8,768	9,550	8,679	8,591
	基準年度比		99%	108%	98%	97%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	10,018	9,918	9,869	9,817	9,717
	基準年度比		99%	99%	98%	97%
二酸化炭素排出量合計	Kg-CO ₂	18,874	18,685	19,419	18,496	18,308
	基準年度比		99%	103%	98%	97%
一般廃棄物の削減	Kg	249	247	238	244	242
	基準年度比		99%	96%	98%	97%
節水	m ²	39	39	54	38	37
	基準年度比		99%	138%	98%	97%
エコメディカルシティ構想の提案	行動計画に基づく実施					
社会貢献						

環境経営計画と その評価 次年度の計画

第39回吹田産業フェア2024

2024年5月25日 吹田市「第39回 吹田産業フェア2024」

環境経営計画とその評価 次年度の取組計画

取組計画	達成状況		単位/基準 年度比	評価・次年度の取組計画
電力の削減 ・冷暖房の控えめな使用 （冷房28℃ 暖房20℃） ・クールビズ、ウォームビズ運動 ・換気扇は最小限に	基準年度	8,856	Kg-CO ²	目標 達成：✕ 10月より衆院選があったことから、事務所利用者数が平時より上昇したことなどから電気使用量が増えたものと思われる。今年度は、目標達成に向け節電に取り組む。
	目標	8,768	99%	
	実績	9,550	108%	
ガソリン使用量の削減 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃焼マークを優先する	基準年度	10,018	Kg-CO ²	目標 達成：○ 前年度比較して、少しではあるが削減に成功している。この調子で今年度は、更なるエコドライブに努めていく。
	目標	9,918	99%	
	実績	9,869	99%	
一般廃棄物の削減 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	基準年度	249	Kg	目標 達成：○ 資源ごみ回収や不要書類の裏紙使用などの実施継続により、少しではあるが削減に成功している。この調子で今年度は、更なる廃棄物削減に努めていく。
	目標	247	99%	
	実績	238	96%	
節水 ・節水呼びかけ ・節水弁取り付け	基準年度	39	m ³	目標 達成：✕ 10月より衆院選があったことから普段利用しない階でも水道等の利用があったことから増加したものである。今年度は、目標達成に向け節水に取り組む。
	目標	39	99%	
	実績	54	138%	
エコメディカルシティ振興による健康の推進と経済の発展 ・環境と医療との融合を中心テーマとしての	世界に誇れる医療都市のまちづくりによって、健康産業の発展に貢献するなど、初期の目標を一部達成した。 引き続き、ソフト面の運用や情報発信にさらなる活性化を目指していく。			
社会貢献 ・地域の環境活動への積極的な参加	講演活動や環境や健康イベントへの参加など、数多くの社会貢献に努めてきた。 引き続き、講演活動やイベントへの参加により、社会貢献に努めていく。			

緊急事態対応訓練



2024年12月22日 「自民党大阪府連大会 青山新会長と」

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定	火災
訓練実施日	2024年5月28日
訓練内容	☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 廃棄物による放火を想定し、通報、消火、避難訓練を実施
訓練結果	避難口が一か所のため階段（入口）より出火した場合、 どのように避難するかを確認しなければならない。 消火器の位置確認・有効期間の確認ーOK 消防署への連絡方法の確認ーOK
評価	今回のテストは全員が火災に対する対応の認識ができ、 有効であった。
手順書変更の必要性	なし

環境関連法規制等の 遵守状況

2024年8月2日 吹田市内「盆踊り大会」

環境関連法規制等の 遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りであり、遵守されている。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫
小型家電リサイクル法	デジカメ、電卓、掃除機、電子レンジ等

遵守評価を行った結果、環境関連法規への違反、訴訟等はありません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘はこれまでありません。

代表者による全体評価と 見直し指示

「環境」への取組は、生態系を意味する「エコシステム」を維持することが重要です。

「エコシステム」を回すには「連携」が大切で、その連携を強めるために必要なのは「利益」を出すこと…
落選して民間の立場だからこそ、よく見えてきたことです。

まず第一歩として「環境意識」を一人でも多くの方に持っていただくために、地元の清掃活動に積極的に参加し、賛同いただく企業を増やすように努力を重ねています。
また私は、薬剤師でもあるので、例えば在宅療養で使用する注射針の回収など、医療のジャンルでも、環境問題への取組が進むように取組を進めています。

一部の項目で目標達成に及ばなかった点は、再度見直し目標達成のために努力を続けてまいります

元衆議院議員 とかしきなおみ

